

# TOTO

## コンパクトリモデル (コーナータイプ) 便器

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。  
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

### 安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。  
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	<b>注意</b> この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	<b>禁止</b> は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。		<b>必ず実行</b> は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
--	--	--	---

### 注意

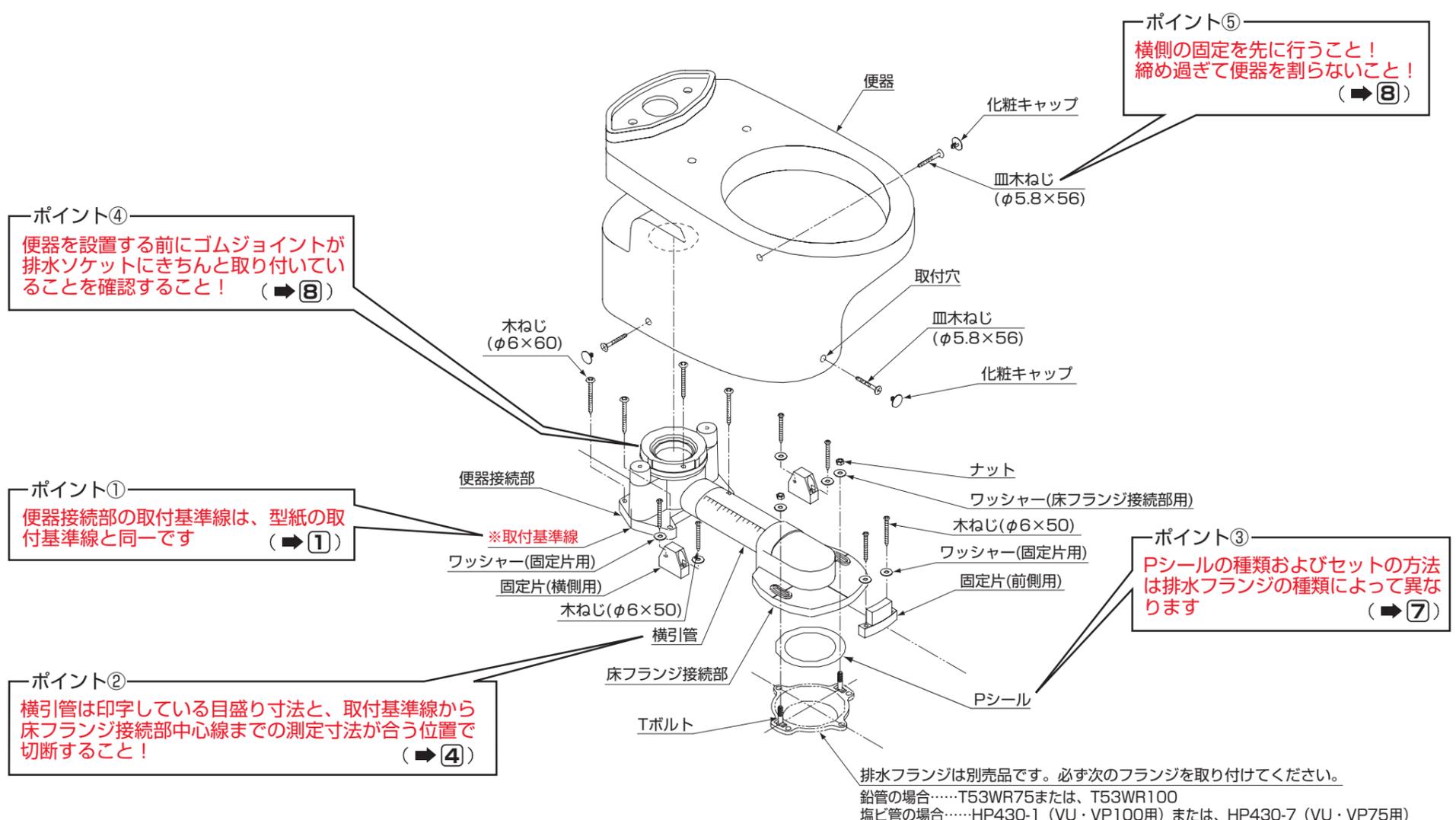
	<b>禁止</b> 便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	<b>必ず実行</b> 設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。 設置工事は、この説明書に従って確実に 故障や水漏れの原因になります。 フィルター掃除をするときは、必ず止水栓を閉め、タンクの水を流してから行う 水圧でフィルターが飛び出てくる可能性があります。

### 同梱部品

※部品があるか、下表を参照して確認してください。

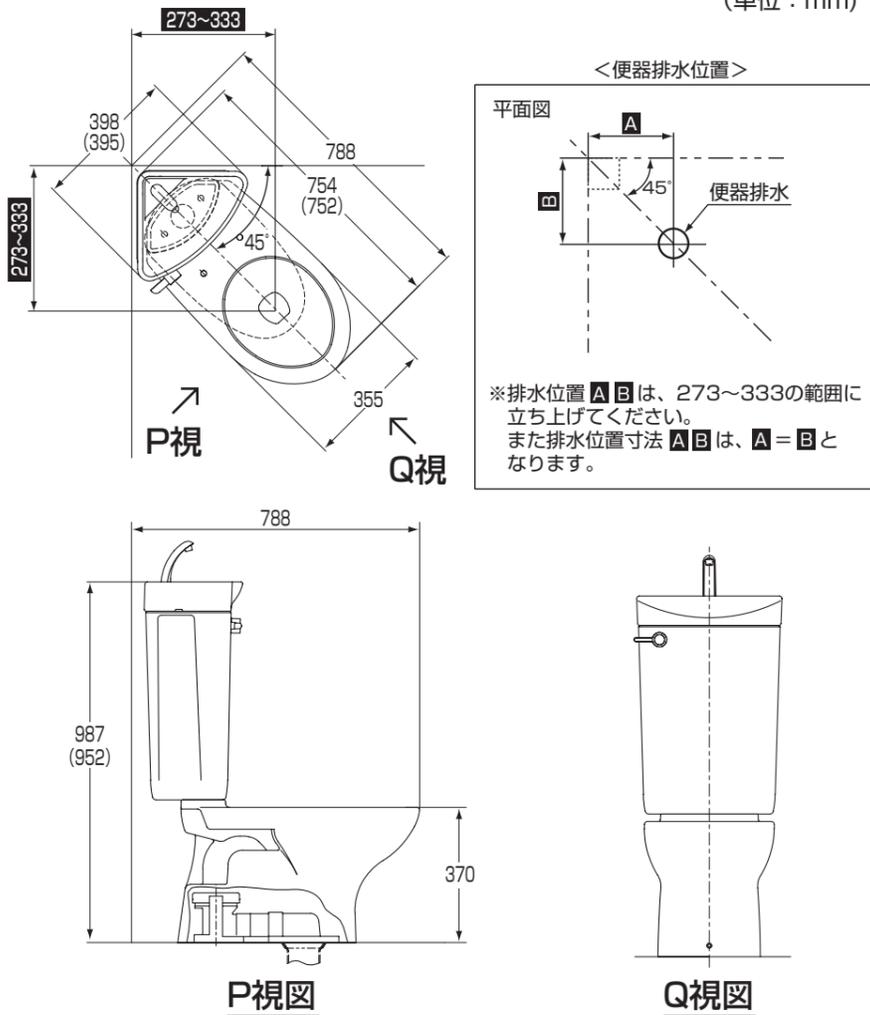
便器本体		排水アジャスター		
		便器接続部	横引管	床フランジ接続部
	(1個)			
		(1個)※ゴムジョイント付き	(1個)	(1個)
Pシール		その他		
金属フランジ用	樹脂フランジ用			
		施工用型紙 (1部)	施工説明書 (1部)	化粧キャップ (3個)
(1個)	(1個)			
固定片・固定金具類				
木ねじ (便器接続部用) (φ6×60: 4本)	木ねじ (固定片用) (φ6×50: 6本)	ワッシャー (固定片用) (6枚)	固定片(前側用)(1個)	
皿木ねじ (φ5.8×56: 3本)	Tボルト (2本)	ナット (2個)	ワッシャー (床フランジ接続部用) (2枚)	固定片(横側用)(2個)

### 各部のなまえと施工のポイント



## 完成図

(単位：mm)

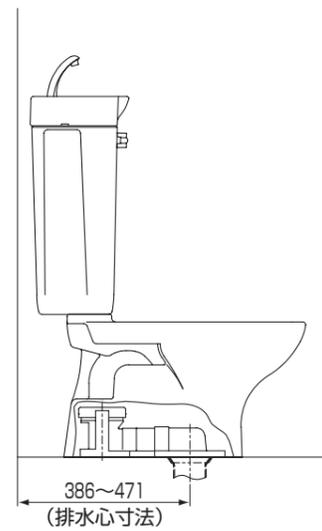


上図はトイレブース左側のコーナーに設置した場合を示します。  
( ) は手洗いなしの場合

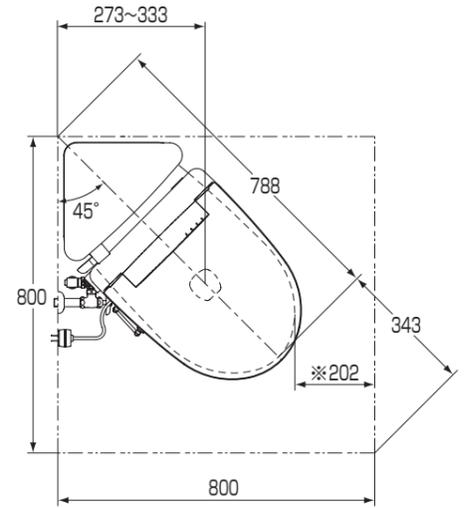
## 施工前のご注意

(単位：mm)

### 1. 取替対応可能排水心寸法



### 2. トイレブース奥行き必要寸法



上図はトイレブース800×800の場合を示します。  
※は参考寸法

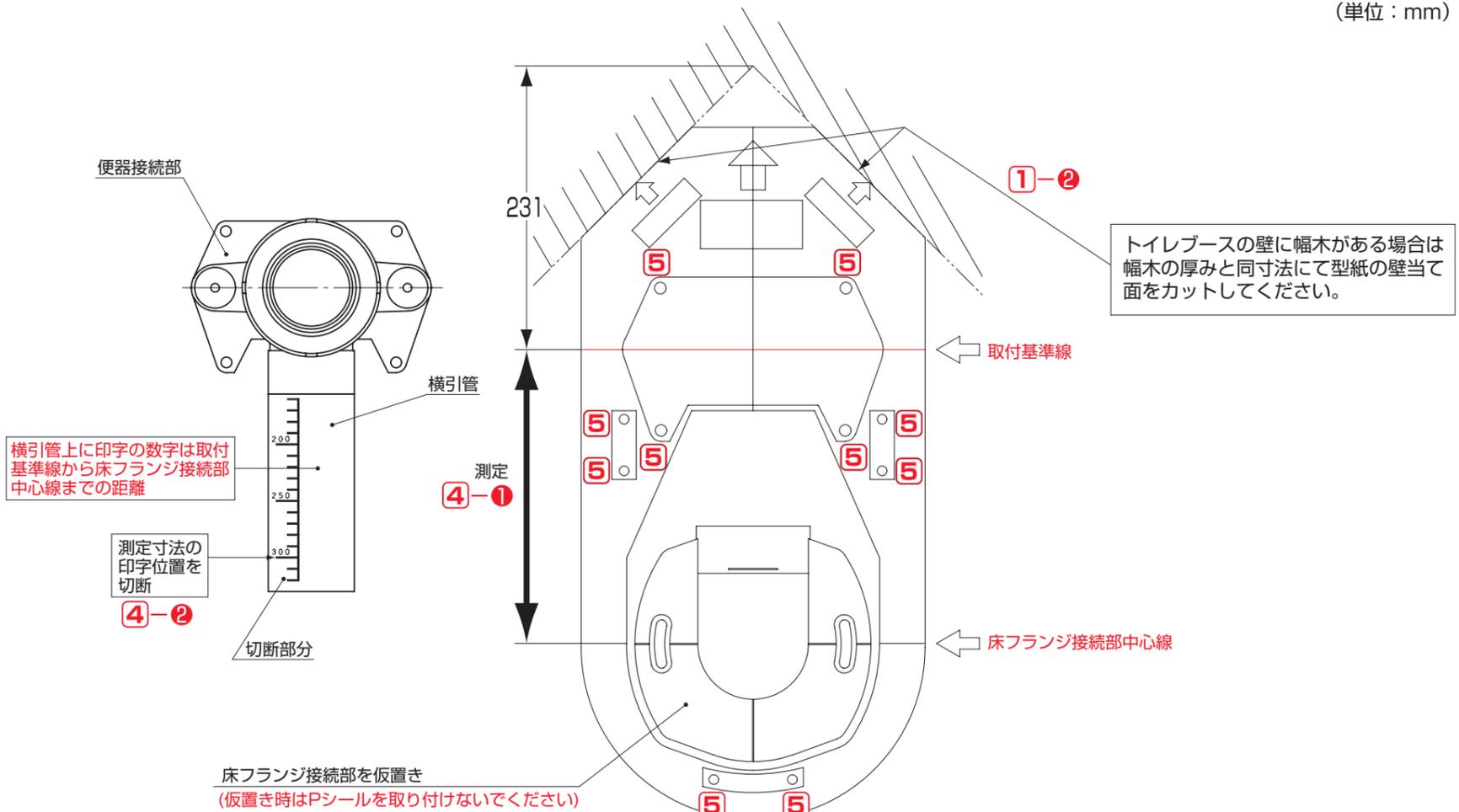
- 注1. 800×800のトイレブースに設置の際は、狭くなることを事前にお客様にご了承いただいたうえ、設置願います。
- 注2. トイレブースの便器設置側コーナーに柱などがある場合は設置できません。
- 注3. ドアの開閉、周辺器具の作動に支障のないことをご確認ください。
- 注4. 施工前には、埋設されている給水配管などの破損を防止するため、位置を確認してください。

## 施工用型紙と排水アジャスターの位置関係

同梱の施工用型紙は、排水アジャスターの横引管の切断位置を決めるのに用います。また、排水アジャスターの便器接続部と固定片（前側用・横側用）の木ねじのけがきにも使用できます。

図中の数字は次項の便器施工要領の手順番号を示します。

(単位：mm)

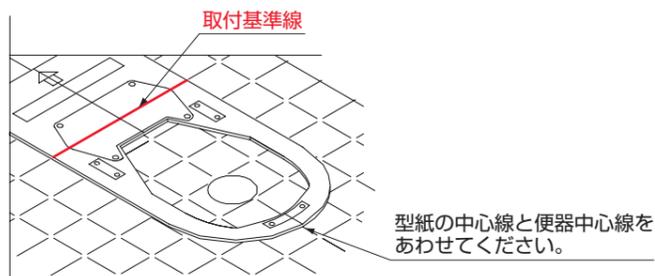


# 取付方法

便器の施工、排水アジャスターの組み立ては便器同梱の施工用型紙をご利用ください。止水栓の施工に当たっては、タンクの施工説明書をご覧ください。

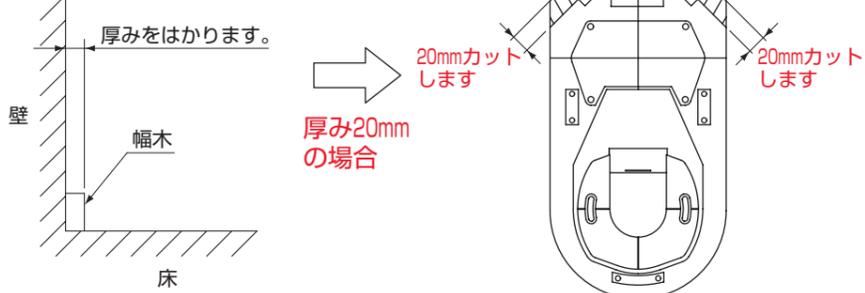
## 1 取付基準線の位置あわせ

① トイレブースのコーナーに施工用型紙をあわせる。



② 壁面に幅木がある場合は、型紙の壁当て面を幅木の厚みと同寸法にてカットする。

(例)

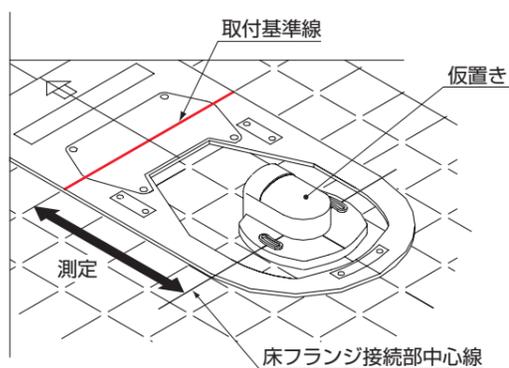


## 4 横引管の切断

① 取付基準線から床フランジ接続部中心線までの寸法測定

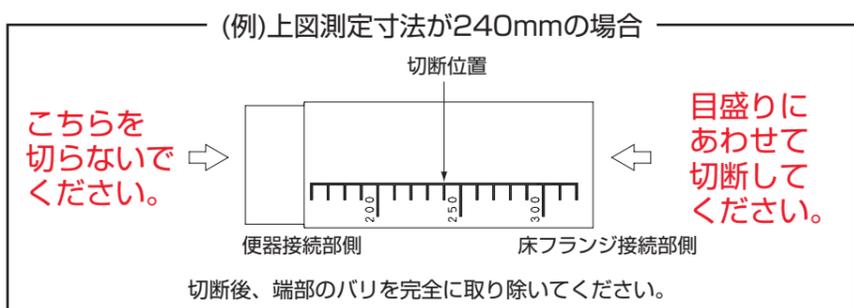
排水フランジの上に、床フランジ接続部を仮置きし、取付基準線と床フランジ接続部中心線との寸法を測定する。

このとき、Pシールは取り付けないでください。



② 排水アジャスター横引管の切断

横引管上に印字している目盛り寸法と測定寸法が合う位置で横引管を真っすぐに切断する。切断後、端部のバリを完全に除去する。



(注) 上図測定寸法が155mmの場合、横引管は不要です。便器接続部と床フランジ接続部を直接つないでください。

## 2 排水フランジ (別売品) の取り付け

床仕上げ後、排水フランジを取り付ける。

注) このとき、Pシールはまだ取り付けないでください。

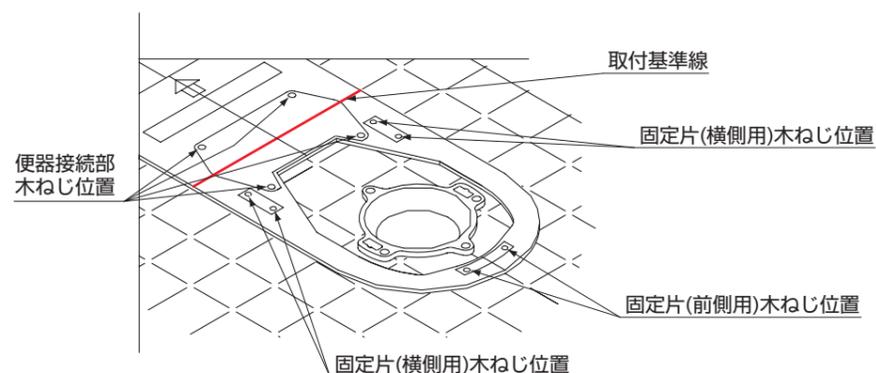
鉛管の場合、T53WR75または、T53WR100を取り付けます。  
塩ビ管の場合は、HP430-1 (VU・VP100用) または、HP430-7 (VU・VP75用) を取り付けます。  
その後、便器の中心線をけがいてください。  
施工方法は、各排水フランジの施工説明書をご覧ください。

## 3 止水栓 (タンク同梱) の取り付け

タンクに同梱の止水栓を取り付ける。  
施工方法はタンクの施工説明書をご覧ください。

## 5 木ねじ穴のけがき、下穴あけ

取付基準線から壁までの寸法の位置決めを行った排水アジャスターの便器接続部と固定片の木ねじ位置をけがいて、φ3程度の下穴をあける。



## 6 排水アジャスターの組み立て

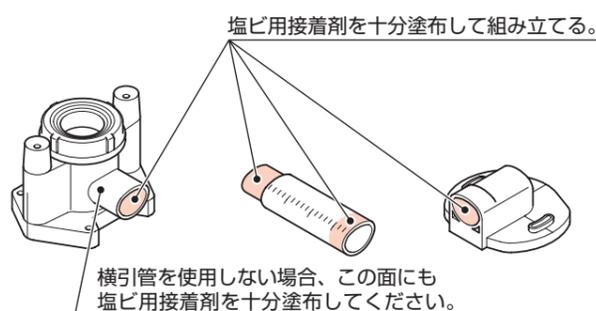
### ⚠ 注意



必ず実行

横引管は最後まで、きちんと押し込む  
接着が不十分だと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

床面に対してガタツキがないように接着する  
ガタツキが大きいと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



## 7 固定片・排水アジャスターの取り付け

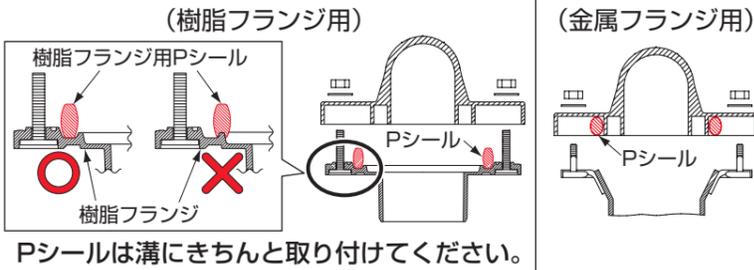
### 注意

#### Pシール取り扱い上の注意

- 既設の床フランジのタイプにあわせ、必ず同梱（再取り付け時は同品番）の金属フランジ用Pシール（補修品番：TH633）または、樹脂フランジ用Pシール（補修品番：TH633-3）を使用する
- 既設のフランジタイプによって、Pシールのサイズと取付方法が異なるので、注意する

Pシールを間違えて取り付けると、洗浄不良などの不具合や便器が詰まり汚水があふれたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

必ず実行



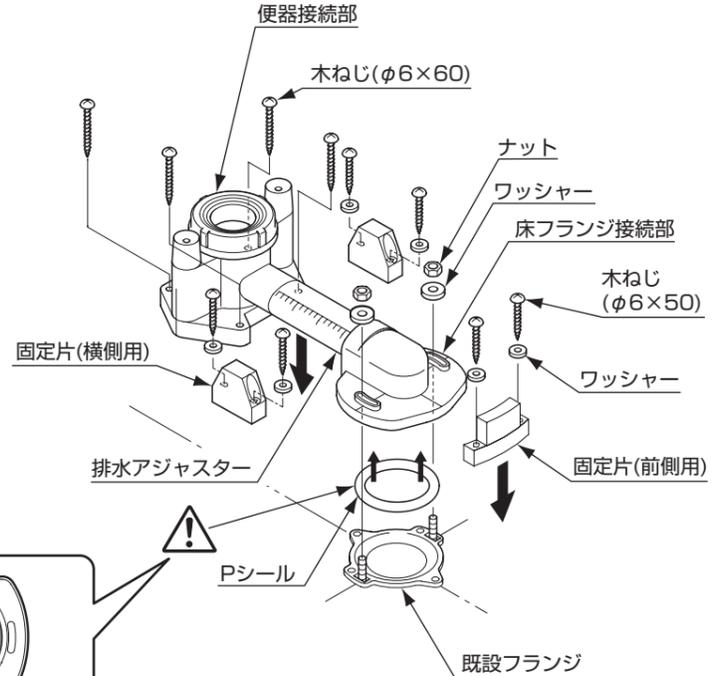
### 注意

Pシールが排水路部分(斜線内)に入らないようにセットしてください。洗浄不良の原因になります。



※気温が下がるとPシールが固くなることがあります。このときは、20~30℃のぬるま湯の中に、包装袋ごと入れて柔らかくして使用してください。

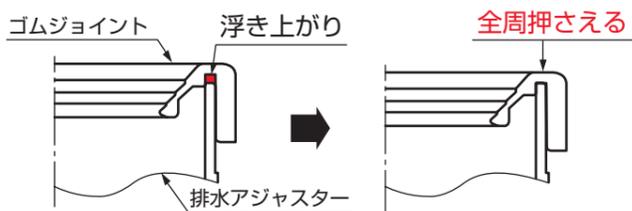
- 樹脂フランジの場合 Pシール(樹脂フランジ用)をフランジにセットする。  
金属フランジの場合 Pシール(金属フランジ用)を排水アジャスターにセットする。
- 排水アジャスターをフランジに押し付けてから、便器接続部の取付穴(4カ所)に木ねじを入れ、確実に締める。
- 床フランジ接続部(排水アジャスター)を、ワッシャー・ナットで既設フランジに固定する。
- 固定片(前側用)と固定片(横側用)を所定の位置にあわせて、ワッシャー・木ねじで床に固定する。



## 8 便器の取り付け

### 注意

便器を取り付ける前に、ゴムジョイントが排水アジャスターにきちんと取り付けられていることを確認する  
きちんと取り付けしていないと水漏れするおそれがあるので必ず、ゴムジョイントを押さえ込んで便器を取り付ける



必ず実行

#### 横側(左右)の固定を必ず先に行うこと

前側の固定を先に行うと便器が後方へスライドし、ゴムジョイント部から水漏れするおそれがあります。

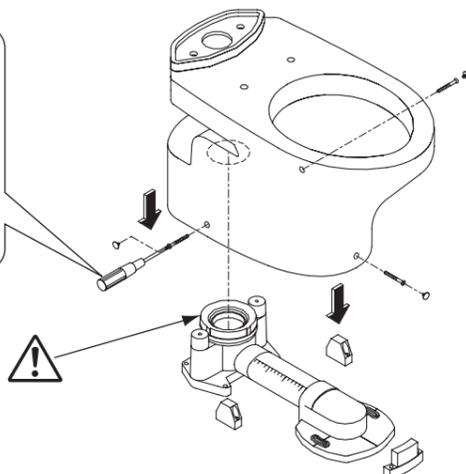
#### 左右の固定は片締めにならないように均等に締める

片締めしますと、便器が片方へスライドし、ゴムジョイント部から水漏れするおそれがあります。

便器排水口および排水アジャスターの接続部周辺のごみや汚れを取り除き、便器排水口を排水アジャスターに差し込む。

横側の固定を必ず先に行い、左右均等に締めてください。  
最後の締め増しは手締めにより便器を割らないように注意してください。

※締め過ぎて便器を割らないように注意してください。



## 9 タンクの取り付け

タンクの取り付けに当たっては、タンクに付属の施工説明書に従う。

### 取り付け後の確認

- 試運転(洗浄)後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- 陶器表面に傷などが無いことを確認してください。陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。スジ状の跡が付いた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で軽くこすって除去してください。
- 施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ(コーキング剤、配管用接着剤など)の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

### お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。フローリング(木質系)を使用される場合は、便器下部周囲に防カビ性のシリコン系シーリング材(メジール)を充てんすることをおすすめします。

